

平成 23 年度採択 タイプ A-Ⅱ ① 京都大学

「強靱な国づくりを担う国際人育成のための中核拠点の形成－災害復興の経験を踏まえて－」

●相手大学・機関

チュラロンコン大学(タイ), カセサート大学(タイ), アジア工科大学(タイ), バンドン工科大学(インドネシア), ベトナム国家大学ハノイ校(ベトナム), マラヤ大学(マレーシア)

●主な活動内容（概要）

【学生の相互交流（国際協働教育履修コース）】 ASEAN3 ヶ国 5 大学から学生 15 名を 4 週間受入れ、京都大学学生 15 名を ASEAN の大学へ 4 週間派遣する相互交流プログラムを実施。
 【教員の相互交流（コラボレーション講義）】 ASEAN3 ヶ国 5 大学から若手教員を受け入れ、また京都大学から若手教員を ASEAN の大学へ派遣し、教員の相互交流による講義を実施。
 【FD シンポジウム】 協働教育プログラムの改善・質の向上を図る FD シンポジウムを開催。

●プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等）

現状・課題

特になし。

成功事例

【On the Research Training（ORT 演習）の実施】
 協働教育履修コースの特色として日本・ASEAN の災害現場に出向く ORT 演習を重視しており、ORT 演習に参加した履修生のほぼ全員から非常に有意義であった感想が得られた。
 【ASEAN 履修生が京都大学大学院工学研究科博士課程に入学】
 24 年度にタイのアジア工科大学から受け入れた履修生 1 名が 25 年度博士課程入学試験に合格して、社会基盤工学専攻に入学した。
 【台湾成功大学（部局間学術交流協定校）が 26 年度短期受入プログラムへ参加】
 アジア諸国への情報発信の結果として、台湾成功大学から 26 年度短期受入プログラムに参加したい要望があり、経費は同大学が負担して派遣された大学院学生 3 名を受入れた。

●学生交流数

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
受 入	0	0	1 5	1 5	1 5	1 5	1 5	1 5
派 遣	0	0	1 5	3 3	1 5	1 6	1 5	1 5

(※) 予定含む

